

馬場ひでゆきの活動日誌 No.31

常任委員会3日目は（7月4日開催）教育委員会の所管事項について質疑がされました。

教員不足は「危機的な状況」

委員会では、大淵委員（未来にいがた）大平委員（リベラル新潟）らの質疑によって、教員未配置の現状や原因が次のとおり明らかになりました。

●本年度4月時点の県立公立小中学校の教員の欠員が46名、昨年は10名で4倍超えに急増した。高校の教員の欠員も17名だった。

●現状（本年7月）では、欠員を補充するはずの臨時教員候補者がいない。各地域の教育事務所に登録されていた候補者は、令和元年度は367人、令和5年度は215人、令和6年度は35人ほとんどん減少している、今年度の



part3

6月定例会（議会）

常任委員会ダイジェスト ＜教員が足りない！臨時免許状を考える＞

35人は既に各学校に教員として配置しており、候補者が枯渇している状況である。

●臨時教員候補者がいないのは、教員の志願者が減少しているからだ。小学校教諭については採用選考検査を見直したり、複数回実施、大学3年次の特別選考も実施したが、結果として出願者数は昨年度よりも減少した。そのため、臨時教員候補者も少なくなっている。

※ ※ ※
学校教育は教員がいて初めて成り立ちます。4月は新学期です。4月の時点で本来配置されるべき教員がいないということ、教育を受ける権利を本気で充足させる気がないと思われるも仕方ないのでは。教員の未配置は重大な問題です。

臨時免許状の問題で、教員不足の深刻さがよりリアルに！

教員不足の補完策として、正規の免許をもっていない者に対して特別に免許状（臨時免許状のこと、以下「臨免」と略します）を交付して教員として働いてもらう制度があります。私は、教員不足をもっとリアルに明らかにしたいと思っ、臨免についての質問をしました。

（馬場）今年度の臨免の交付件数は？

（義務教育課長）令和4年度が341件、令和5年度が397件です。（馬場）1年で56人も増えている。重く受け止めるべきだ。

臨免には、①特定の科目（例えば数学）の免許を持っている人に別の科目（例えば英語）の臨免を与える場合、②まったく正規の免許状をもっていない人に与える場合、の二つがある。

397人のうち、後者の場合は全体の何パーセントになるか？

（義務教育課長）46・1%になります。ただし、やみくもに渡しているものではなく、教育支援員とか保育園で勤務したことがあるなど、子どもと関わった人たちを対象にしている。

（馬場）交付の方法だが、聞くところによれば、校長が適格者であると考えた人の書類を教育委員会に送り、それを確認して県教委が免許を与えるということだ。これは余りに簡略すぎるのではないか。採用基準、検定基準を書面で要綱として定めるべきではないか。

（義務教育課長）要綱の制定については、他県の状況も踏まえながら、研究したい。

（馬場）未配置の問題、臨時免許状の問題、今の新潟の教育現場って危機的な状態なのでは？

（義務教育課長）現在の状況については、私も大変な危機的な状況だと認識しています。

※ ※ ※
正規の免許状は、大学で教職課程を履修したものに交付されます。そういう過程を経ていない者に対して、校長が適格者と太鼓判を押せば先生になれてしまふというのが臨時免許状の制度です。おかしくありません？
今回の委員会審議で、教員不足が深刻で危機的な状況にあることがわかりました。

義務教育課長は、「教育実習を受けた人たち、或いは新採用の教員に、何に不安を感じているのかなど生の声を聞く必要がある」と言いました。抜本的対策をとるためにも現場の声を聴くべきです。

上越まつり

7月24日は、市民神輿渡御の出発式に参加しました。暑い中、威勢のいい担ぎ手さんの掛け声に元気をいただきました。



翌日の25日は本町通りで大民謡流し。飯山の会合を終えて大急ぎで駆けつけました。今年は、関根学園、上越高校の生徒の皆さんがたくさん参加してくれました。とても賑やかでした。

私が事務所の玄関前（マンションの2階）で手を振って応援していたら、生徒さんが、背後にある後援会の立看板で気づいたのか、「ひでゆき〜」と声を掛けてくれました。嬉しかったです。

上越飯山線改修期成同盟会

7月25日は、飯山市内で主要地方道上越飯山線改修期成同盟会の総会があり、参加しました。

この道路は、板倉区の光が原を通り関田峠を超えて飯山に抜ける道路です。近年は県境の信越トレイルの整備も進み山歩きを楽しむ人たちも増えました。道路整備が必要になってきます

私は、高校時代に、まだ残雪の時期にハイキングで関田峠を

超えて飯山市の温井の民宿でお世話になったことがありました。こんな思い出話をしながら、懇談会では飯山市の皆さんと親交を深めました。

長岡憲法を守る長岡地域協同センター総会

7月28日は、長岡市内で、長岡憲法を守る長岡地域協同センター総会に招かれて「議場で見えてきた新潟県政の現状と課題」と題して話をしました。

実は依頼があつたときに「今、憲法の話にはついていけない」と言っただけですが、それでもいいと言われたので話してきました。

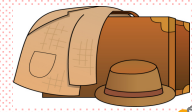
県の借金財政、教員が足りない教育現場の実状、地域医療再編、原発再稼働の情勢などなど、沢山の質問があつて意見交換できました。



最後に「お行儀よくならないでいいからね」という励ましの言葉を頂きました。頑張ります。

地域医療フォーラムin妙高

7月27日に妙高高原メッセで行われました。県の福祉保健部の中村部長から「上越地域の現状と課題」について説明、妙高



コーシー Break

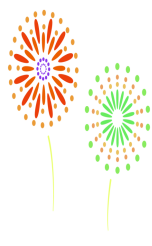
「花火大会の一押しは？」夏といえば花火ですね。長岡や隅田川の有名な花火大会もいいですが、地域の人が主催して地域の人を楽しむ手作りっぽい花火大会もいいです。

私は、実家に近い清里区の「きよさと坊太郎祭り」大花火大会を推します。祭りの会場のある清里中学校の高台から、点火する様子が見下ろせます。点火から花火が上がるまでを近くで観て臨場感たっぷり。また、一つずつ花火を打ち上げるごとにスポンサーの名前がアナウンスされます。どこでもやっているかもしれませんが、清里の場合は、スポンサーはどれも地元の商工業者や個人の方々に、商売の発展や家族の幸せを願っているなんてメッセージつきで思わず聞いてほろっときてしまいます。花火みているときって家族でも友人同士でも恋人同士でも、幸せな一時ですよ。だから、花火を見るのも好きですが、花火を見ている人を観察するのも好きです。今年清里の花火は8月10日午後8時に開始です。

原発に係る国の県民説明会

7月28日、市民プラザで、「柏崎刈羽原子力発電所に係る国の取組みに関する県民説明会」が開催されました。

原子力規制庁、内閣府、資源エネルギー庁の説明から、再稼働を急ぐ国の様子がわかりました。参加者からは、審査の不十分性、事故が起きた場合の避難の対応、代替エネルギーについての検討不足など、次々と質問があがりました。どの質問も都心の経済優先と引き換えに命を危険に晒す恐れがあるかもしれない不安を抱えた地方住民の切なる声です。しかし、国の回答はいずれも納得できるものではありませんでした。これからは、今一層皆さんと力を合わせて、原発再稼働反対を訴えていきます（荊木）。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号
ダイヤパレス高田式番館2階
電話 025-546-17110
ファックス 025-546-17666
メール kengi-bahadeyuki@wind.on.ne.jp